

平成31年度 千葉市水道事業会計予算について



平成30年度第1回

千葉市水道事業運営協議会

平成31年3月13日（水）

千葉市水道局

目次

1 総括事項

- (1) 基本的な考え方 P. 3
- (2) 業務の予定量 P. 3
- (3) 収益的収支の概要 P. 4
- (4) 資本的収支の概要 P. 4

2 収益的収支について

- (1) 前年度予算との比較 P. 5

3 資本的収支について

- (1) 前年度予算との比較 P. 6

4 中期経営計画との比較について

- (1) 御殿町配水管整備 P. 7
(2) 下田町配水管増径改良 P. 8
(3) 平川浄水場の設備更新 P. 9
(4) 他会計繰入金 P. 10
(5) 企業債残高 P. 10

※本資料においては、

- ・単位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・千葉市水道事業中期経営計画（計画期間：平成28～32年度）を「中期経営計画」と表示しています。

1 総括事項

(1) 基本的な考え方

- 安全な水を安定して供給するため、**配水管の整備、霞ヶ浦開発事業などへの費用負担**を行います。
- 浄水場の機能を適正に維持するため、**平川浄水場電気・機械設備の更新**を行います。
- 災害時等に迅速・安定的な応急給水活動を行うため、**給水車を整備**します。
- 水道事業運営については、より一層の経費節減を図り、効率的な事業経営に努めます。

(2) 業務の予定量

- 給水戸数：1万9,896戸（前年度に比べ230戸増）
- 年間総給水量：481万984 m^3 （前年度に比べ2万6,070 m^3 減）
- 1日平均給水量：1万3,145 m^3 （取水量：1,010 m^3 受水量：1万2,135 m^3 ）
- 主要な建設改良事業費：拡張事業費2億1,700万円、改良事業費5,200万円

(3) 収益的収支の概要

※「収益的収支」とは・・・事業の管理・運営に関する収入および支出をいいます。

【収益的収入】

- 営業収益（水道使用料など）：11億3,800万円
- 営業外収益（他会計補助金など）：9億9,500万円
- 合計：21億3,300万円

【収益的支出】

- 営業費用（県からの受水費、職員給与費、減価償却費など）：19億4,300万円
- 営業外費用（企業債利息など）：1億9,200万円
- 合計：21億3,700万円

(4) 資本的収支の概要

※「資本的収支」とは・・・施設の建設・改良に関する収入および支出をいいます。

【資本的収入】

- 拡張費及び改良費に充当する企業債：1億6,600万円
- 出資金：7億700万円
- 負担金：2億8,600万円
- 合計：11億5,900万円

【資本的支出】

- 建設改良費（拡張費、改良費など）：5億9,600万円
- 企業債償還金など：10億2,800万円
- 合計：16億2,500万円

2 収益的収支について

(1) 前年度予算との比較

(単位：百万円)

区 分	H30 予算額	H31 予算額	増 減 額	増 減 率	H31 予算 額 構成比	主 な 増 減 理 由
収益的収入（水道事業収益）	3,785	2,133	△ 1,652	△ 43.6 %	100.0 %	H30予算において計上した 霞ヶ浦導水事業撤退に伴う処 理費用が収入及び支出ともに 減となったため （収入） 特別利益 △1,273百万円 他会計補助金 △378百万円 （支出） 特別損失 △1,651百万円
（1）営業収益	1,117	1,138	21	1.9 %	53.4 %	
①給水収益（水道使用料）	1,050	1,055	5	0.5 %	49.5 %	
②その他（加入者負担金等）	67	83	16	23.9 %	3.9 %	
（2）営業外収益	1,395	995	△ 400	△ 28.7 %	46.6 %	
①他会計補助金	1,164	764	△ 400	△ 34.4 %	35.8 %	
②長期前受金戻入	227	227	-	-	10.6 %	
③その他（雑収益等）	4	4	-	-	0.2 %	
（3）特別利益	1,273	0	△ 1,273	皆 減	皆 減	
収益的支出（水道事業費用）	3,783	2,137	△ 1,646	△ 43.5 %	100.0 %	
（1）営業費用	1,933	1,943	10	0.5 %	90.9 %	減価償却費 新規減価償却費分の増 御殿町配水管 5百万円 平川浄水場受変電設備 7百万円
①原水及び浄水費	827	819	△ 8	△ 1.0 %	38.3 %	
②配水及び給水費	276	290	14	5.1 %	13.6 %	
③総係費	148	133	△ 15	△ 10.1 %	6.2 %	
④減価償却費	678	688	10	1.5 %	32.2 %	
⑤資産減耗費	4	13	9	225.0 %	0.6 %	
（2）営業外費用	197	192	△ 5	△ 2.5 %	9.0 %	企業債利息 既発行債分の利息の減
①企業債利息	170	155	△ 15	△ 8.8 %	7.3 %	
②その他（消費税等）	27	37	10	37.0 %	1.7 %	
（3）特別損失	1,652	1	△ 1,651	△ 99.9 %	-	
（4）予備費	1	1	-	-	-	

3 資本的収支について

(1) 前年度予算との比較

(単位：百万円)

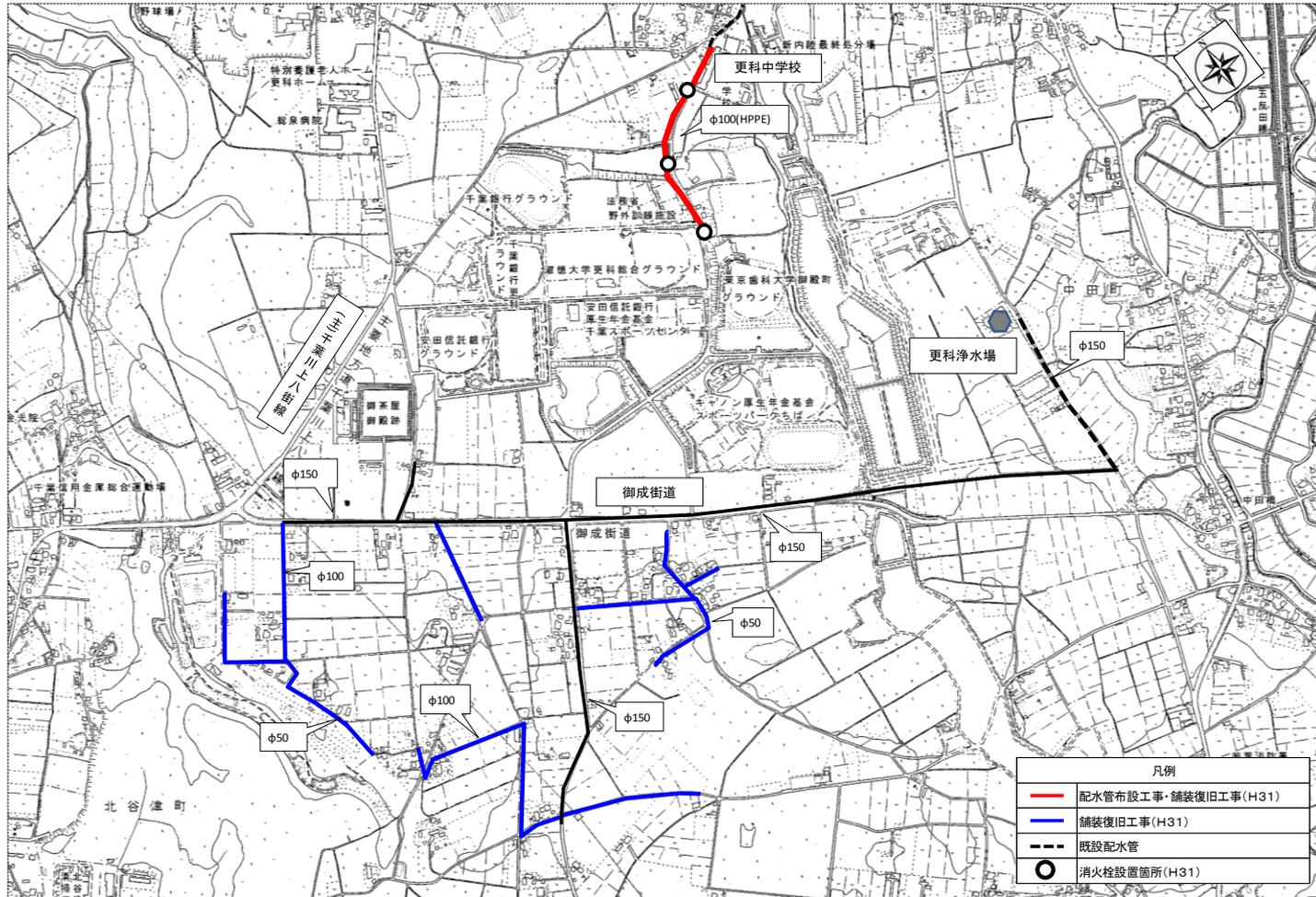
区 分	H30 予算額	H31 予算額	増 減 額	増 減 率	H31 予算 額 構 成 比	主 な 増 減 理 由
資本的収入	830	1,159	329	39.6 %	100.0 %	H30予算に比べて、内部留 保資金の発生額が減少したこ とに伴い収支金が増額なった < 内部留保資金 > H30：832百万円 H31：470百万円（△362） 固定資産購入費 給水車1台 → 2台
(1) 企業債	227	166	△ 61	△ 26.9 %	14.3 %	
(2) 出資金	344	707	363	105.5 %	61.0 %	
(3) 負担金	259	286	27	10.4 %	24.7 %	
①他会計負担金	0	1	1	皆 増	0.1 %	
②工事負担金	259	285	26	10.0 %	24.6 %	
資本的支出	1,658	1,625	△ 33	△ 2.0 %	100.0 %	
(1) 建設改良費	630	596	△ 34	△ 5.4 %	36.7 %	
①拡張費	438	432	△ 6	△ 1.4 %	26.6 %	
②改良費	191	149	△ 42	△ 22.0 %	9.2 %	
③量水器費	1	1	-	-	0.1 %	
④固定資産購入費	0	14	14	皆 増	0.9 %	
(2) 償還金（企業債償還金）	1,027	1,028	1	0.1 %	63.3 %	
(3) 予備費	1	1	-	-	-	



4 中期経営計画との比較について

(1) 御殿町配水管整備 : 平成31年度予算額 62,000千円(計画 72,000千円)

配水管布設延長 L = 426m 舗装復旧 A = 6,700m² 【 事業完了予定 】



(2) 下田町配水管増径改良:平成31年度予算額 41,000千円(計画 40,000千円)

配水管増径改良 $\phi 75 \rightarrow \phi 100$ 布設延長 $L = 662\text{m}$

下田町の水圧不足を解消するため、管路980mの増径改良を実施します。平成31年度末の進捗率は67.6%となる見込みです。



(3) 平川浄水場の設備更新:平成31年度予算額 52,000千円(計画 82,000千円)

無停電電源設備（蓄電池盤、充電器盤、インバータ盤）、中央分電盤の更新

平川浄水場は昭和52年に設置した施設であり、電気・機械設備が老朽化していることから、平成28年度から平成36年度までの9年間で設備更新を行っています。

中期経営計画では、62台中16台の更新を行う予定であり、更新率は25.8%を目指しています。

平成31年度予算で4台の設備更新を行うことで、中期経営計画の更新目標を1年前倒しで達成する予定です。

(単位：千円)

年 度		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	計
計 画	事業内容	設 計	2台	5台	5台	4台	8台	14台	10台	14台	62台
	事業費	17,000	59,000	69,000	82,000	54,000	100,000	119,000	152,000	130,000	782,000
実 績	事業内容	設 計	2台	10台	4台						16台
	実績・予算額	15,336	37,584	136,080	52,000						241,000

← 中期経営計画の期間 →



充電電池盤他



中央分電盤

(4) 他会計繰入金:平成31年度予算額 計1,472百万円(計画 1,479百万円)

(単位:百万円)	H31計画額	H31予算額	増減率	増減額
収益的収支分	791	764	△3.4%	△27
基準内	306	284	△7.2%	△22
基準外	485	480	△1.0%	△5
資本的収支分	688	707	2.8%	19
基準内	35	33	△5.7%	△2
基準外	653	674	3.2%	21
合計	1,479	1,472	△0.5%	△7

職員人件費(建設改良費分)が増えたことにより、基準外の出資金が計画額を上回りましたが、繰入金全体では収入の確保・費用の削減により、計画範囲内の金額となりました。

(5) 企業債残高:平成31年度末見込み 17,131百万円(計画 17,343百万円)

(単位:百万円)

区 分	H28		H29		H30		H31	
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	実 績
借入額	181	170	263	182	239	202	225	166
償還額	902	902	956	956	1,001	1,027	1,030	1,028
残 高	19,603	19,592	18,910	18,818	18,148	17,993	17,343	17,131

借入額 (H28~H31) 計画 908 → 実績 720 (△188)

償還額 (H28~H31) 計画 3,889 → 実績 3,913 (24)

計画どおり事業を執行していますが、契約差金に伴い、借入額が抑制されました。

また、霞ヶ浦導水事業の繰上償還を行ったことにより計画残高に対して、212百万円の減額が達成できました。